

重要文化財福山城伏見櫓移築元調査支援業務委託の
受託者に求める考え方について

重要文化財福山城伏見櫓は、京都伏見城からの移築建築物とされているが、京都伏見城はこれまでに2度再建されていることから、現存する福山城伏見櫓の元々の建築年代は特定されていない。そのため、福山城伏見櫓と京都伏見城松之櫓の関係性を示す情報を深化させ、伏見櫓の移築に係る経緯、状況をより明らかにする必要がある。

本業務は、本市が実施をする重要文化財福山城伏見櫓の調査を支援し、移築元調査のための資料整理を行うほか、京都市伏見区に所在する伏見城（現宮内庁書陵部桃山御陵）の現地調査を支援するものである。

資料整理については、①②③④の内容について、これまでの研究史などから福山城伏見櫓に係る資料を集め、現地調査を実施する際の参考資料とするものである。

また、現地調査支援については、専門家調整及び現地調査に係る滞在対応（宿泊・移動）を確実に遂行できる実現性の高い提案を求めるものである。